

主要事業評価シート(第2次実施計画 / R1・2・3年度)

基本事項	計画コード	事業名	部名	健康福祉部
	17090	放課後児童クラブ事業	課名	子ども未来課 子育てサポートG
	施策の大綱	04:子育てと子どもの成長を支える環境の充実	財務	会計
	基本施策	02:安心して産み育てられる環境づくりの推進	科目	01:一般会計
	戦略プロジェクト	05:「そして、親となるまち」プロジェクト	目	03:民生費
事業予定期間	H 17 ~ R - 年度	主な根拠法令等	児童福祉法、放課後児童健全育成事業実施要綱	

目的・概要	対象	小学生および保護者
	目的	就労等により保護者が昼間に家にいない小学生の安全な居場所を確保し、保護者が就労等と子育ての両立ができる環境づくりを行う。
概要	放課後児童クラブを運営する地域組織および社会福祉法人等に、クラブ運営に必要な経費に対する補助を行う。また、亀山南小学校敷地内に放課後児童クラブを整備する。	

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
年度計画	放課後児童クラブの運営補助 ・21施設(公設8、民設13)	放課後児童クラブの運営補助 ・22施設(公設9、民設13)	放課後児童クラブの運営補助 ・23施設(公設9、民設14)		
	放課後児童クラブの開始補助 ・2施設	放課後児童クラブの開設補助 ・1施設			
年度実績	放課後児童クラブの整備 (亀山南小学校区)				
	○放課後児童クラブの運営補助 ・18施設(公設8・民設10) 補助金額合計:125,810,262円)	○放課後児童クラブの運営補助 ・21施設(公設9・民設12) 補助金額合計:153,183,246円)	○放課後児童クラブの運営補助 ・23施設(公設9・民設14) 補助金額合計:181,183,246円)		
事業の計画・実績	○放課後児童クラブの開始補助を行った。 (2施設)	○放課後児童クラブの開始補助を行った。 (1施設)	○放課後児童クラブの開始補助を行った。 (1施設)		
	○亀山南小学校区放課後児童クラブを整備した。	○新型コロナウイルス感染症対策に対する補助を行った。			
事業費	計画額	事業費	191,100千円	154,000千円	157,100千円
		国庫支出金	50,090千円	43,720千円	46,220千円
		県支出金	51,000千円	44,610千円	47,210千円
		地方債			
		その他			
		一般財源	90,010千円	65,670千円	63,670千円
	予算額	事業費	183,800千円	191,139千円	
		国庫支出金	50,050千円	49,580千円	
		県支出金	50,965千円	46,090千円	
		地方債			
		その他	50千円	50千円	
		一般財源	82,735千円	95,419千円	0千円
	決算額	事業費	164,258千円	179,543千円	
		国庫支出金	55,751千円	69,037千円	
		県支出金	42,863千円	50,720千円	
地方債					
その他		50千円	50千円		
一般財源		65,594千円	59,736千円	0千円	
人件費	総人件費	11,774千円	11,759千円	0千円	
	一般職員	11,774千円	11,759千円	0千円	
	所要人員	1.50	1.50		
	会計年度任用職員等	0千円	0千円	0千円	
総コスト(+)		176,032千円	191,302千円	0千円	
受益者負担率		0.0%	0.0%	0.0%	

			令和元年度	令和2年度	令和3年度	
指標	名称	放課後児童クラブの充足率	計画値	100	100	100
		受入件数/申込件数	実績値	100	100	
			単位	%	%	%
	名称		計画値			
			実績値			
			単位			
	名称		計画値			
			実績値			
			単位			

事業の改善	前回評価	<p>【前回評価の対応方針の概要を記入】</p> <p>利用希望者が増加する小学校区の放課後児童クラブについて、利用希望者の見込を把握し入所者の調整など小学校区に応じ受入方法を検討し対応を進める。新型コロナウイルス感染症対策については、感染症対策物品の配布、感染者が発生した場合のクラブの対応について連携した対応を行っていく。</p>
	改善行動	<p>【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】</p> <p>井田川小学校区において、利用児童数の増加が見込まれたため、民設の放課後児童クラブの新設を行い、令和3年4月の待機児童の発生しないための対策を取った。</p>

		評価	(判定)
事業の評価	活動	<p>【計画どおりに実施できたか】</p> <p>10小学校区において運営する放課後児童クラブ(公設9支援単位、民設12支援単位)に対し、運営費補助等を行い、子どもたちの放課後の居場所として安全で健やかに過ごせる居場所の提供を行った。また、児童数の増加が予想された井田川小学校区において、民設の放課後児童クラブの新設に対する支援を行った。</p> <p>さらに、各クラブの実施する新型コロナウイルス感染症対策のために必要な物品等の購入に要する費用や、利用自粛に係る利用料金の減免に係る費用への助成を行った。</p>	<p>A</p> <p>計画どおり実施できた</p>
	成果	<p>【成果は順調に上がったか】</p> <p>令和2年度においては、各クラブへの運営費などの支援を行うことで子どもが安心して通うことができ、過ごせる場所を整備し、その運営を財政支援することで、仕事と子育ての両立ができる環境づくりにつなげることができた。また、令和3年度に向けても必要な支援単位の新設を行うことで、利用ニーズへの対応を行うことができた。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症対策については、必要な物品購入等に係る費用を補助することにより、感染症対策を徹底し、安心できる居場所の確保につなげることができた。</p>	<p>A</p> <p>十分な成果を得た</p>

今後の対応方針	課題	<p>【課題は何か】</p> <p>市全体での少子化の傾向は続くと考えられるが、市北東部などの小学校区においては一時的なニーズ増が生じる可能性もあるため、今後の利用ニーズの増加についても留意が必要な状況である。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症のリスクは継続しており、引き続き感染予防対策等が重要となっている。</p>	<p>今後の方向性</p> <p><input type="checkbox"/> 拡大</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p> <p>【その他の場合、その内容を記載】</p>
	対応	<p>【課題に対し、どのように対応するか】</p> <p>アンケート調査などによる利用ニーズの把握に努めつつ、利用枠の拡大の必要性の検討と必要な対策を行う。</p> <p>また、長期休暇子ども居場所づくり事業を並行して行うことにより長期休暇中のニーズに対応することで、年間利用者の平準化を行う。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策については、国・県の制度等に注視し、必要な支援や指導等を行う。</p>	
	効果	<p>【対応することで、どのような効果が期待できるか】</p> <p>利用ニーズを把握し、適切に受け入れることにより、待機児童を出さずに保護者の就労等が可能となり、感染予防等の対策を行うことで、保護者が安心できる小学生の居場所を確保することができる。</p>	
対応時期		令和3年度	

【1次評価者】	健康福祉部 子ども未来課 子育てサポートグループリーダー 草川 温子
【最終評価者】	健康福祉部 子ども未来課長 林 秀臣

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	A	A	A	A	
	成果	A	A	A	A	

令和2年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)		191,139 千円
内訳	令和元年度からの繰越額	千円
	令和2年度の最終予算額	191,139 千円
	令和3年度への繰越額	千円